

第 70 回セメント技術大会 講演要旨正誤表

講演番号：1107

講演題目：乾燥条件および温度履歴がエトリンガイト結晶中の水分状態に及ぼす影響

誤	正
<p>1 ページ目 左段 下から 17 行目</p> <p>XRD において非晶質化することがわかっており<sup>3)</sup>、その形状は粒状であることが報告されている<sup>4)</sup>。</p>	<p>XRD において非晶質化することがわかっており<sup>3)</sup>、また再水和後の形状は粒状であることが報告されている<sup>4)</sup>。</p>
<p>1 ページ目 右段 下から 10 行目</p> <p>図 2</p>	<p>図 3</p>
<p>2 ページ目 左段 上から 15 行目</p> <p>図 5,6</p>	<p>図 6,7</p>
<p>2 ページ目 右段 下から 14 行目</p> <p>N.K.Skoblinskaya</p>	<p>N.N.Skoblinskaya</p>

以上

第 70 回セメント技術大会 講演要旨正誤表

講演番号：1114

講演題目：高温加熱を受けたコンクリートの性能回復に関する実験的考察 その6. 表面湿潤再養生後の耐凍害性(普通コンクリート)

誤	正
1 ページ目 左段 上から 7 行目 繊維高強度コンクリート	高強度繊維コンクリート
1 ページ目 右段 表 2 の Notes: Rc	F <sub>c</sub>

以 上

## 第 70 回セメント技術大会 講演要旨正誤表

講演番号：1116

講演題目：高温加熱を受けたコンクリートの性能回復に関する実験的考察 その 8. 内部構造の変化

誤	正
1 ページ目 左段 上から 18 行目 ・・・辺長が 40mm の立法体に切断して・・・	・・・辺長が 40mm の立方体に切断して・・・

以 上

第 70 回セメント技術大会 講演要旨正誤表

講演番号：1204

講演題目：水和物の物性を考慮したポルトランドセメント-アルミナセメント-無水石膏系セメント材料の圧縮強さ発現モデルの検討

誤	正
1 ページ目 右段 上から 13 行目 ゲーレナイト	カトアイト

以 上

第 70 回セメント技術大会 講演要旨正誤表

講演番号：1207

講演題目：合成 C-(A-)S-H へのアルカリ金属(Na)の収着に関する検討

誤								正									
1 ページ目 表 1																	
合成物種類	試料名	C/S比	G/(A+S)比	化学組成(mol%)			LOI (mass%)	密度 (g/cm <sup>3</sup> )	合成物種類	試料名	C/S比	G/(A+S)比	化学組成(mol%)			LOI (mass%)	密度 (g/cm <sup>3</sup> )
				CaO	SiO <sub>2</sub>	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>							CaO	SiO <sub>2</sub>	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>		
C-A-S-H	CASH0.8	0.79	0.73	43.0	54.7	2.3	17.5	2.26	C-A-S-H	CASH0.8	0.79	0.73	43.0	54.7	2.3	17.5	2.26
	CASH1.0	0.99	0.91	48.7	49.2	2.1	17.1	2.40		CASH1.0	0.99	0.91	48.7	49.2	2.1	17.1	2.40
	CASH1.2	1.18	1.09	53.2	45.0	1.9	15.5	2.18		CASH1.2	1.18	1.09	53.2	45.0	1.9	15.5	2.18
C-S-H	CSH0.8	0.80	—	44.4	55.6	—	18.7	2.14	C-S-H	CSH0.8	0.80	—	44.4	55.6	—	18.7	2.14
	CSH1.0	0.99	—	49.7	50.3	—	19.3	1.99		CSH1.0	0.99	—	49.7	50.3	—	19.3	1.99
	CSH1.2	1.17	—	53.8	46.2	—	20.1	2.03		CSH1.2	1.17	—	53.9	46.1	—	20.1	2.03
1 ページ目 表 2																	
試料名	C/S比	NaCl濃度 (mmol/L)	Rd (Na)	試料名	C/S比	NaCl濃度 (mmol/L)	Rd (Na)	試料名	C/S比	NaCl濃度 (mmol/L)	Rd (Na)	試料名	C/S比	NaCl濃度 (mmol/L)	Rd (Na)		
CASH0.8	0.79	1	19.6	CSH0.8	0.80	1	15	CASH0.8	0.79	1	19.6	CSH0.8	0.80	1	15		
		10	11.0			10	7.6			10	11.0			10	7.6		
		100	3.8			100	2.6			100	3.8			100	2.6		
CASH1.0	0.99	1	10.0	CSH1.0	0.99	1	6.7	CASH1.0	0.99	1	10.0	CSH1.0	0.99	1	6.7		
		10	5.6			10	3.9			10	5.6			10	3.9		
		100	2.2			100	1.9			100	2.2			100	1.9		
CASH1.2	1.18	1	3.3	CSH1.2	1.21	1	2.1	CASH1.2	1.18	1	3.3	CSH1.2	1.17	1	2.1		
		10	2.2			10	1.2			10	2.2			10	1.2		
		100	1.0			100	0.95			100	1.0			100	0.95		

以上

第 70 回セメント技術大会 講演要旨正誤表

講演番号：1301

講演題目：積算発熱量から算定したゲル空隙比を用いた養生温度の異なる高炉セメントの圧縮強度の考察

誤											正										
2 ページ目 表 4																					
記号	圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )					積算発熱量 (N/mm <sup>2</sup> )					記号	圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )					積算発熱量 (J/g)				
	1日	3日	7日	14日	28日	1日	3日	7日	14日	28日		1日	3日	7日	14日	28日	1日	3日	7日	14日	28日
C-10°C	-	8.8	20.1	37.2	46.1	76.9	161.3	235.2	317	372.6	C-10°C	-	8.8	20.1	37.2	46.1	76.9	161.3	235.2	317	372.6
BFS20-10°C	-	6.7	15.1	28.5	40.5	72	158.3	223.4	294.3	355.8	BFS20-10°C	-	6.7	15.1	28.5	40.5	72	158.3	223.4	294.3	355.8
BFS40-10°C	-	5.2	11.9	23.1	37.5	65.6	148.3	206	263.6	319.6	BFS40-10°C	-	5.2	11.9	23.1	37.5	65.6	148.3	206	263.6	319.6
BFS60-10°C	-	3.4	9.4	18.9	32	51.5	128.6	187.6	239.4	286.6	BFS60-10°C	-	3.4	9.4	18.9	32	51.5	128.6	187.6	239.4	286.6
C-20°C	5.5	15.9	32.4	37.9	45.5	150	233.6	329.2	382.9	412.9	C-20°C	5.5	15.9	32.4	37.9	45.5	150	233.6	329.2	382.9	412.9
BFS20-20°C	6.1	15.5	30.4	39.8	51.8	143.5	222.1	303.1	358.5	400.3	BFS20-20°C	6.1	15.5	30.4	39.8	51.8	143.5	222.1	303.1	358.5	400.3
BFS40-20°C	5	13.4	26	39	50.6	127	204.6	278.4	338	381.1	BFS40-20°C	5	13.4	26	39	50.6	127	204.6	278.4	338	381.1
BFS60-20°C	3.8	12.1	25.7	38.7	46.6	104.1	178.6	247.2	302.8	340.6	BFS60-20°C	3.8	12.1	25.7	38.7	46.6	104.1	178.6	247.2	302.8	340.6
C-30°C	7.3	21.4	33.9	41.2	46.5	186.5	303.8	373.3	401.5	419.7	C-30°C	7.3	21.4	33.9	41.2	46.5	186.5	303.8	373.3	401.5	419.7
BFS20-30°C	7.7	18.9	30	41.7	47.1	177.3	280.9	353.3	392.3	418.5	BFS20-30°C	7.7	18.9	30	41.7	47.1	177.3	280.9	353.3	392.3	418.5
BFS40-30°C	7	14.5	27.4	38.7	46.8	165.9	266.5	345.4	388.5	420.3	BFS40-30°C	7	14.5	27.4	38.7	46.8	165.9	266.5	345.4	388.5	420.3
BFS60-30°C	5.5	13	28.5	41.9	46	145.2	242.2	313.4	352.3	382.5	BFS60-30°C	5.5	13	28.5	41.9	46	145.2	242.2	313.4	352.3	382.5

以上

第 70 回セメント技術大会 講演要旨正誤表

講演番号：1302

講演題目：フライアッシュコンクリートの利用拡大を目指して開発したセメントを用いたコンクリートの諸物性に関する研究

誤		正																																																							
<p>1 ページ目 左段 下から 4 行目</p> <p>表-1 各ケースの粉体混合割合</p>		<p>表-1 セメントの品質</p>																																																							
<p>1 ページ目 左段 下から 3 行目 表-1</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">検討ケース</th> <th colspan="4">粉体混合割合(%)</th> </tr> <tr> <th>普通 (N①)</th> <th>高エーライト (A)</th> <th>フライアッシュ (FA)</th> <th>普通 (N②) (高ブレン)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高C<sub>3</sub>S-FA</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>18</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>N②-FA</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>18</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>N①-FA</td> <td>82</td> <td>—</td> <td>18</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>N①</td> <td>100</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		検討ケース	粉体混合割合(%)				普通 (N①)	高エーライト (A)	フライアッシュ (FA)	普通 (N②) (高ブレン)	高C <sub>3</sub> S-FA	41	41	18	—	N②-FA	—	—	18	82	N①-FA	82	—	18	—	N①	100	—	—	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">密度 g/cm<sup>3</sup></th> <th rowspan="2">ブレン cm<sup>2</sup>/g</th> <th colspan="4">クリンカーの珪物組成 (%)</th> </tr> <tr> <th>C<sub>2</sub>S</th> <th>C<sub>3</sub>S</th> <th>C<sub>3</sub>A</th> <th>C<sub>4</sub>AF</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通ポルトランドセメント N①</td> <td>3.16</td> <td>3350</td> <td>60.1</td> <td>13.1</td> <td>9.0</td> <td>9.8</td> </tr> <tr> <td>高ブレンセメント N②</td> <td>3.16</td> <td>3730</td> <td>62.8</td> <td>11.1</td> <td>8.9</td> <td>9.7</td> </tr> </tbody> </table>			密度 g/cm <sup>3</sup>	ブレン cm <sup>2</sup> /g	クリンカーの珪物組成 (%)				C <sub>2</sub> S	C <sub>3</sub> S	C <sub>3</sub> A	C <sub>4</sub> AF	普通ポルトランドセメント N①	3.16	3350	60.1	13.1	9.0	9.8	高ブレンセメント N②	3.16	3730	62.8	11.1	8.9	9.7
検討ケース	粉体混合割合(%)																																																								
	普通 (N①)	高エーライト (A)	フライアッシュ (FA)	普通 (N②) (高ブレン)																																																					
高C <sub>3</sub> S-FA	41	41	18	—																																																					
N②-FA	—	—	18	82																																																					
N①-FA	82	—	18	—																																																					
N①	100	—	—	—																																																					
	密度 g/cm <sup>3</sup>	ブレン cm <sup>2</sup> /g	クリンカーの珪物組成 (%)																																																						
			C <sub>2</sub> S	C <sub>3</sub> S	C <sub>3</sub> A	C <sub>4</sub> AF																																																			
普通ポルトランドセメント N①	3.16	3350	60.1	13.1	9.0	9.8																																																			
高ブレンセメント N②	3.16	3730	62.8	11.1	8.9	9.7																																																			

以上

第 70 回セメント技術大会 講演要旨正誤表

講演番号：1304

講演題目：硫酸塩刺激を骨材から与えたフライアッシュセメントペーストの微視的検討

誤	正
1 ページ最後～2 ページ初め 遷材移帯	遷移帯

以 上



## 第 70 回セメント技術大会 講演要旨正誤表

講演番号：1305

講演題目：品質の異なるフライアッシュを用いたコンクリートの比抵抗とフライアッシュの活性度指数に関する考察

誤	正
1 ページ目 右段 上から 12 行目 試験方法」に準拠して行った。試験材齢は・・・	試験方法」に準拠して実施した。試験材齢は…
1 ページ目 表 2 S：陸砂（密度：2.56 g/cm <sup>3</sup> ）	S：陸砂（密度：2.56 g/cm <sup>3</sup> ）
2 ページ目 図 5 横軸 活性度指数 材齢 28 日(%)	活性度指数(%)

以 上

第 70 回セメント技術大会 講演要旨正誤表

講演番号：1309

講演題目：Effects of Limestone Powder on Hydration and Expansion of Portland Cement Containing Expansive Additive

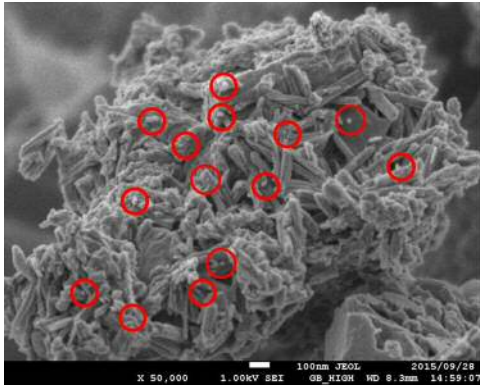
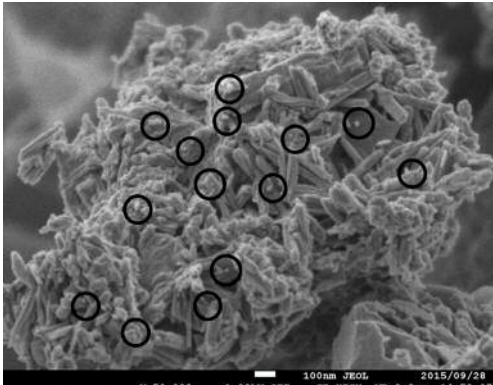
誤	正
2 ページ目 右段 Fig. 4 のタイトル Fig. 4 Heat liberation rate of cements	Fig. 4 Hydration ratio of Alite

以上

第 70 回セメント技術大会 講演要旨正誤表

講演番号：1310

講演題目：Effect of nano-TiO<sub>2</sub> particles on the hydration and drying shrinkage of hardened cement paste

誤	正
<p data-bbox="188 613 448 645">2 ページ目 Photo 1</p>  <p data-bbox="237 680 719 1064">Scanning electron micrograph (SEM) showing the microstructure of hardened cement paste. The image displays a complex network of needle-like crystals and smaller particles. Several features are highlighted with red circles. The image includes technical data at the bottom: X 50,000, 1.00kV SEI, 100nm JEOL, 2015/09/28, GB HIGH WD 0.3mm 14:59:07.</p>	<p data-bbox="810 613 1139 645">(修正点：○の塗り色変更)</p>  <p data-bbox="858 680 1353 1064">Scanning electron micrograph (SEM) showing the microstructure of hardened cement paste, identical to the '誤' (Incorrect) version. However, the features highlighted with circles are now black. The image includes technical data at the bottom: X 50,000, 1.00kV SEI, 100nm JEOL, 2015/09/28, GB HIGH WD 0.3mm 14:59:07.</p>

以上

第 70 回セメント技術大会 講演要旨正誤表

講演番号：1312

講演題目：高炉スラグ微粉末の還元効果及び水和物による早期六価クロム抑制機構

誤	正
1 ページ目 右段 上から 9 行目 (uK $\alpha$ ト、無Å)	(λ=1.54Å)

以 上

第 70 回セメント技術大会 講演要旨正誤表

講演番号：2104

講演題目：CaO・2Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>の合成に及ぼす Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub> 固容量の影響

誤	正
<p>1 ページ目 左段 上から①23、②27、30 行目                      ①23 行目 (化学式[2]の部分) Ca(OH)2                      ②27 行目 (略称表記) CA2                      ③30 行目 (略称表記) CA6</p>	<p>(数字を下つき文字にする)                      ①Ca(OH)<sub>2</sub>                      ②CA<sub>2</sub>                      ③CA<sub>6</sub></p>
<p>1 ページ目 ①左段上から 29 行目、②右段上から 10 行目                       ①混合混和                      ②水分</p>	<p>(取り消し線の削除)                       ①混合                      ②水</p>
<p>1 ページ目 右段 13~14 行目                       粉砕した</p>	<p>粉砕して、</p>
<p>図 3 のタイトルについて                      焼成したクリンカの XRD パターン (1500℃)</p>	<p>(図題の変更)                      Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub> 固容量と CA<sub>2</sub> ピーク強度の関係</p>

以 上

第 70 回セメント技術大会 講演要旨正誤表

講演番号：2301

講演題目：極若材齢を含むコンクリート強度発現式の検討

誤	正
<p>1 ページ目 左段 上から 11 行目</p> <p>るマチュイティの関数で表すことができるという考えに</p>	<p>るマチュリティの関数で表すことができるという考えに</p>

以 上

第 70 回セメント技術大会 講演要旨正誤表

講演番号：2303

講演題目：フレッシュコンクリートと硬化コンクリートの気泡測定に関するばらつきの評価

誤	正
1 ページ目 右段 表 2 の表題 コンクリートの配合	コンクリートの配（調）合

以 上

## 第70回セメント技術大会 講演要旨正誤表

講演番号：2306

講演題目：プレキャストコンクリート製品における色差の許容範囲について

誤	正
1 ページ目 右段 下から5行目 あるこのことから、	ある。このことから、
2 ページ目 左段 上から16行目 A～Fの評価者7人について、	A～Gの評価者7人について、

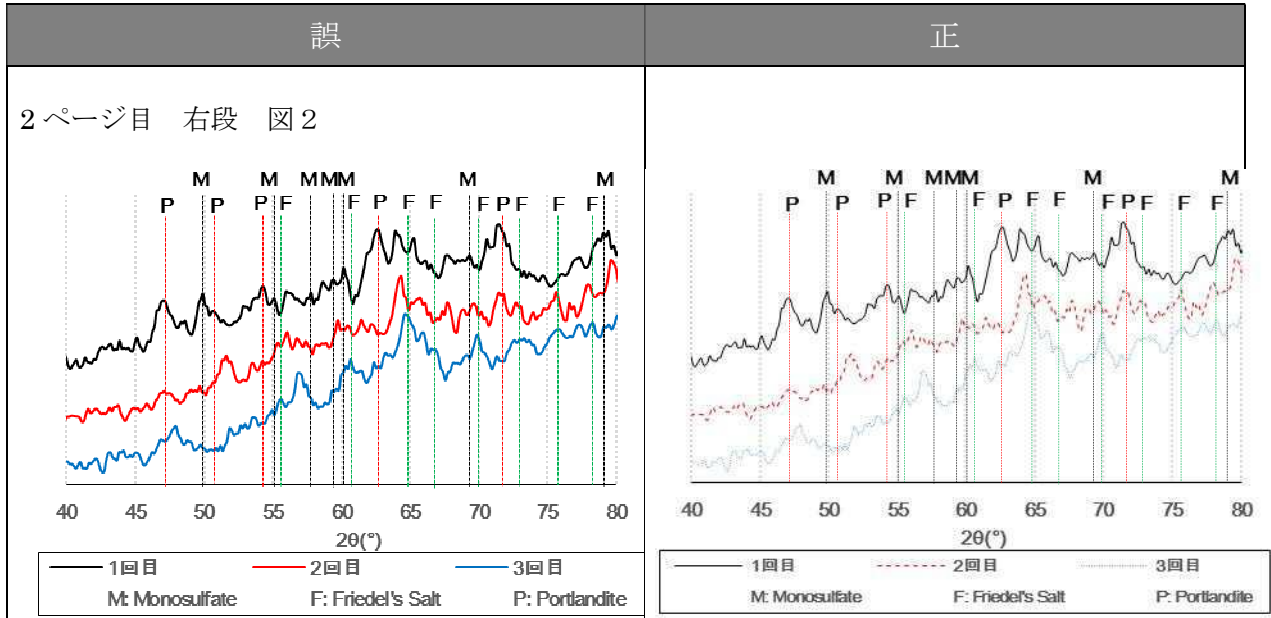
以 上



第 70 回セメント技術大会 講演要旨正誤表

講演番号：3202

講演題目：セメントペースト中の鋼材腐食観察における非破壊 CT-XRD 連成法の適用について



以 上

第 70 回セメント技術大会 講演要旨正誤表

講演番号：3205

講演題目：Study on chloride ion penetration characteristic of concrete containing high-volume replaced blast furnace slag

誤				正			
2 ページ目 図 3							
Binder	W/B	Replacement %	Initial Curing condition	Binder	W/B	Replacement %	Initial Curing condition
N	40%	0	20 °C /28 days	N	40%	0	20 °C /28 days
	50%	0	20 °C /28 days		BB	50%	0
BB	40%	40%	20 °C /28 days	BB		40%	40%
	50%	40%	20 °C /28 days		BC	50%	40%
BC	40%	64.6%	20 °C /28 days	BC		40%	65%
	50%	64.6%	20 °C /28 days			50%	65%

以上

## 第 70 回セメント技術大会 講演要旨正誤表

講演番号：3206

講演題目：硫酸塩の作用を受けたセメント系硬化体における硫酸イオン移動性状に空隙構造および電気的作用が及ぼす影響

誤	正
<p>1 ページ目 右段 下から 9 行目</p> <p>Na<sub>2</sub>SO<sub>4</sub>、MgSO<sub>4</sub> どちらにおいても相関は低く、</p>	<p>Na<sub>2</sub>SO<sub>4</sub>、MgSO<sub>4</sub> どちらにおいても相関は低く、</p>
<p>2 ページ目 左段 下から 7 行目</p> <p>硫酸イオン移動性状対して電気的作用が及ぼす影響について検討を行った。</p>	<p>硫酸イオン移動性状に対して電気的作用が及ぼす影響について検討を行った。</p>

以 上

第 70 回セメント技術大会 講演要旨正誤表

講演番号：3 2 1 3

講演題目：Al 添加率が C-A-S-H の構造及び表面電荷に及ぼす影響

誤	正
1 ページ目 右段 上から 4 行目 レーザードップラー方	レーザードップラー法

以 上

第 70 回セメント技術大会 講演要旨正誤表

講演番号： 3 2 1 4

講演題目： Ca/Si が C-S-H の構造及び表面電荷に及ぼす影響

誤	正
1 ページ目 左段 上から 8 行目 Ca/Si の増加や	Ca/Si(C/S とも記す)の増加や
1 ページ目 右段 下から 4 行目 レーザードップラー方	レーザードップラー法
2 ページ目 左段 下から 1 行目 Ca/Si=1.4 では 1 つの電位ピークしか認められず	Ca/Si=1.4 では pH11.5 以上において 1 つの電位ピークしか認められず
2 ページ目 右段 上から 2 行目 a/Si=1.0	Ca/Si=1.0

以 上

第 70 回セメント技術大会 講演要旨正誤表

講演番号：3217

講演題目：セメントペースト中のセシウム移動における炭酸化および乾湿繰返しの影響

誤	正																																																																																												
1 ページ目 左段 上から 34 行目 1 ページ目 右段 上から 13 行目  炭酸化済	炭酸化																																																																																												
1 ページ目 左段 上から 33 行目  用いる	用いた																																																																																												
1 ページ目 右段 上から 22 行目  表 1	表 2																																																																																												
1 ページ目 表 1 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">密度 (g/cm<sup>3</sup>)</th> <th rowspan="2">比表面積 (cm<sup>2</sup>/g)</th> <th colspan="6">化学成分(%)</th> </tr> <tr> <th>ig.loss</th> <th>insol.</th> <th>SiO<sub>2</sub></th> <th>Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub></th> <th>Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub></th> <th>CaO</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3.16</td> <td>3500</td> <td>0.84</td> <td>0.1</td> <td>21.28</td> <td>5.09</td> <td>3.15</td> <td>65.36</td> </tr> <tr> <th colspan="8">化学成分(%)</th> </tr> <tr> <th>MgO</th> <th>SO<sub>3</sub></th> <th>Na<sub>2</sub>O</th> <th>K<sub>2</sub>O</th> <th>TiO<sub>2</sub></th> <th>P<sub>2</sub>O<sub>5</sub></th> <th>MnO</th> <th>Cl</th> </tr> <tr> <td>1.01</td> <td>2.01</td> <td>0.32</td> <td>0.41</td> <td>0.25</td> <td>0.14</td> <td>0.1</td> <td>0.006</td> </tr> </tbody> </table>	密度 (g/cm <sup>3</sup> )	比表面積 (cm <sup>2</sup> /g)	化学成分(%)						ig.loss	insol.	SiO <sub>2</sub>	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	CaO	3.16	3500	0.84	0.1	21.28	5.09	3.15	65.36	化学成分(%)								MgO	SO <sub>3</sub>	Na <sub>2</sub> O	K <sub>2</sub> O	TiO <sub>2</sub>	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	MnO	Cl	1.01	2.01	0.32	0.41	0.25	0.14	0.1	0.006	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">密度 (g/cm<sup>3</sup>)</th> <th rowspan="2">比表面積 (cm<sup>2</sup>/g)</th> <th colspan="6">化学成分(%)</th> </tr> <tr> <th>ig.loss</th> <th>insol.</th> <th>SiO<sub>2</sub></th> <th>Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub></th> <th>Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub></th> <th>CaO</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3.16</td> <td>3500</td> <td>0.84</td> <td>0.1</td> <td>21.28</td> <td>5.09</td> <td>3.15</td> <td>65.36</td> </tr> <tr> <th colspan="8">化学成分(%)</th> </tr> <tr> <th>MgO</th> <th>SO<sub>3</sub></th> <th>Na<sub>2</sub>O</th> <th>K<sub>2</sub>O</th> <th>TiO<sub>2</sub></th> <th>P<sub>2</sub>O<sub>5</sub></th> <th>MnO</th> <th>Cl</th> </tr> <tr> <td>1.01</td> <td>2.01</td> <td>0.32</td> <td>0.41</td> <td>0.25</td> <td>0.14</td> <td>0.1</td> <td>0.006</td> </tr> </tbody> </table>	密度 (g/cm <sup>3</sup> )	比表面積 (cm <sup>2</sup> /g)	化学成分(%)						ig.loss	insol.	SiO <sub>2</sub>	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	CaO	3.16	3500	0.84	0.1	21.28	5.09	3.15	65.36	化学成分(%)								MgO	SO <sub>3</sub>	Na <sub>2</sub> O	K <sub>2</sub> O	TiO <sub>2</sub>	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	MnO	Cl	1.01	2.01	0.32	0.41	0.25	0.14	0.1	0.006
密度 (g/cm <sup>3</sup> )			比表面積 (cm <sup>2</sup> /g)	化学成分(%)																																																																																									
	ig.loss	insol.		SiO <sub>2</sub>	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	CaO																																																																																						
3.16	3500	0.84	0.1	21.28	5.09	3.15	65.36																																																																																						
化学成分(%)																																																																																													
MgO	SO <sub>3</sub>	Na <sub>2</sub> O	K <sub>2</sub> O	TiO <sub>2</sub>	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	MnO	Cl																																																																																						
1.01	2.01	0.32	0.41	0.25	0.14	0.1	0.006																																																																																						
密度 (g/cm <sup>3</sup> )	比表面積 (cm <sup>2</sup> /g)	化学成分(%)																																																																																											
		ig.loss	insol.	SiO <sub>2</sub>	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	CaO																																																																																						
3.16	3500	0.84	0.1	21.28	5.09	3.15	65.36																																																																																						
化学成分(%)																																																																																													
MgO	SO <sub>3</sub>	Na <sub>2</sub> O	K <sub>2</sub> O	TiO <sub>2</sub>	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	MnO	Cl																																																																																						
1.01	2.01	0.32	0.41	0.25	0.14	0.1	0.006																																																																																						

以上

第 70 回セメント技術大会 講演要旨正誤表

講演番号：3302

講演題目：C-S-H 系早強剤を用いたフライアッシュコンクリートの冬期施工性の評価

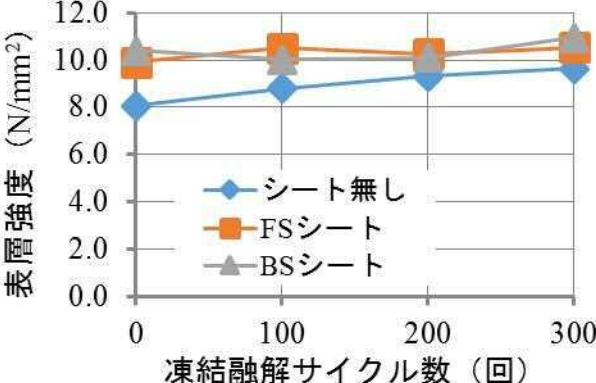
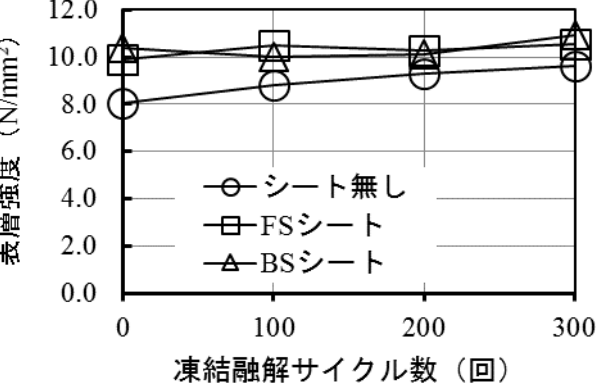
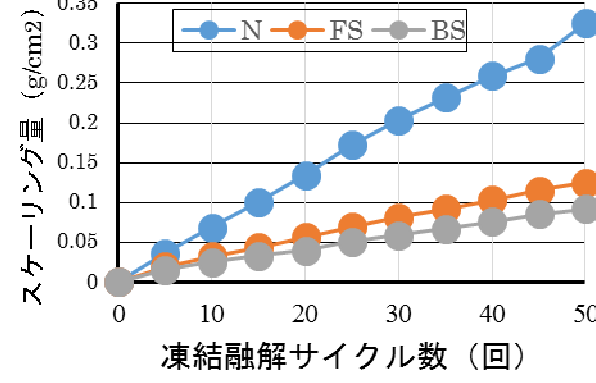
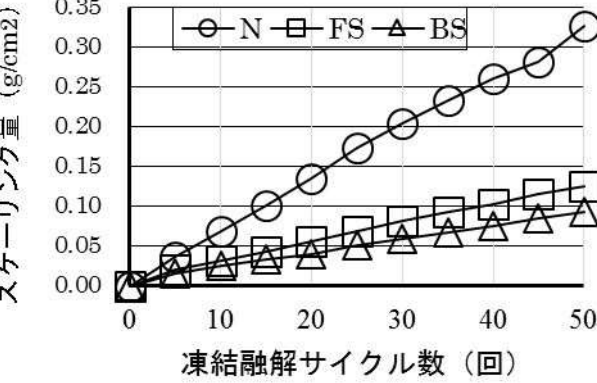
誤	正
2 ページ目 図 3 縦軸ラベル 貫入深さ(N 式, cm)	貫入深さ(N 式, mm)

以 上

第70回セメント技術大会 講演要旨正誤表

講演番号：3310

講演題目：透水型砕工法による寒冷地コンクリートのスケーリング抵抗性について

誤	正
<p>2 ページ目 図3</p>  <p>表層強度 (N/mm<sup>2</sup>)</p> <p>凍結融解サイクル数 (回)</p> <p>● シート無し ■ FSシート ▲ BSシート</p>	 <p>表層強度 (N/mm<sup>2</sup>)</p> <p>凍結融解サイクル数 (回)</p> <p>○ シート無し □ FSシート △ BSシート</p>
<p>2 ページ目 図3</p>  <p>スケーリング量 (g/cm<sup>2</sup>)</p> <p>凍結融解サイクル数 (回)</p> <p>● N ● FS ● BS</p>	 <p>スケーリング量 (g/cm<sup>2</sup>)</p> <p>凍結融解サイクル数 (回)</p> <p>○ N □ FS △ BS</p>

以上



第 70 回セメント技術大会 講演要旨正誤表

講演番号：3318

講演題目：放射性廃棄物を模擬したセメント硬化体からの溶出挙動に関する基礎研究

誤	正
1 ページ目 左段 下から 1 行目 質量割合で 90%置換した、	質量割合で 90%置換した

以 上

## 第 70 回セメント技術大会 講演要旨正誤表

講演番号：3320

講演題目：化学的侵食に対するけい酸塩系表面含浸材の塗布効果に関する検討

誤	正
<p>1 ページ目 左段 上から 21 行目</p> <p>20℃で湿潤養生を 1 日間、</p>	<p>20℃で湿潤養生を 1 日間行い、脱型して、6 日間の水中養生後、</p>

以 上